

2018年3月期 第3四半期決算概要

2018年1月31日
メタウォーター株式会社

- I 2018年3月期第3四半期決算ハイライト
および2018年3月期業績予想
- II 2018年3月期第3四半期決算概要

セグメント情報

- **プラントエンジニアリング事業** (略語: PE事業) 国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、国内外の浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- **サービスソリューション事業** (略語: SS事業) 国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、国内の浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

略語

EPC	Engineering, Procurement and Construction: 設計・建設
O&M	Operation and Maintenance: 運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership: 公共サービスの提供に民間が参画する手法(公民連携)
PFI	Private Finance Initiative: 公共施設の設計・建設、運転・維持管理、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate: 公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法

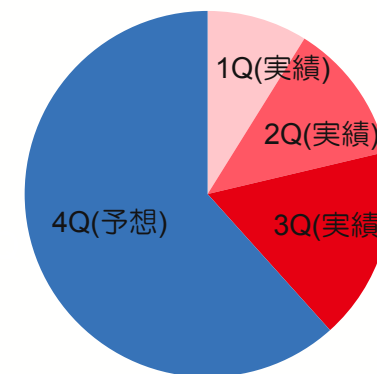
- I 2018年3月期第3四半期決算ハイライト
および2018年3月期業績予想
- II 2018年3月期第3四半期決算概要

'18/3期3Q決算ハイライト(連結)

受注高

- * 前期受注を予想していたPPP案件の当期へのずれ込みと大型案件の受注により、当3Q累計の受注高は、前期実績を上回り過去最高水準で推移。当3Q末の受注残高は、増加傾向を継続。
(参考)'17/3期3Q末1,406億円→'18/3期3Q末1,766億円

'18/3期 四半期別売上構成



売上高・利益

- * 当3Q累計の減収減益は、案件構成の違いによるもので、通期業績予想に織り込み済み(予想通り)。
- * 四半期純利益は、前期に生じた米国子会社の税効果がなくなり、定常化。

通期業績予想

3Q累計実績は概ね予想通りに推移しており、通期業績予想は据え置き。

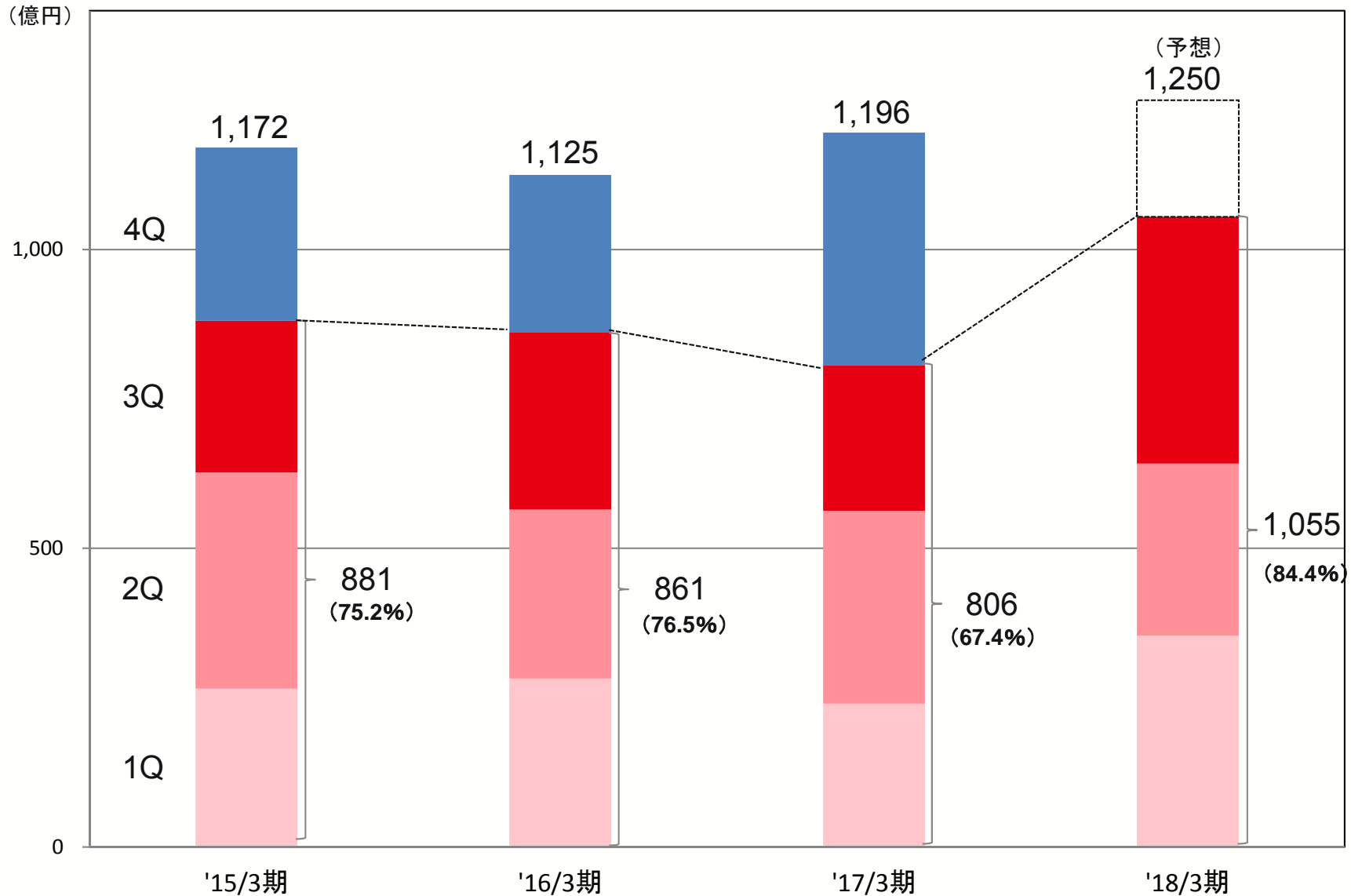
(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益*	配当(円)
'18/3期3Q累計 実績	1,055 前期比: +249 +30.9%	441 前期比: ▲32 ▲6.7%	-52 前期比: ▲10	-52 前期比: ▲12	-37 前期比: ▲14	(第2四半期末) 29
'17/3期3Q累計 実績	806	473	-42	-40	-23	(第2四半期末) 29
'18/3期 通期予想	1,250 前期比: +54 +4.5%	1,150 前期比: +33 +3.0%	65 前期比: +2 +2.7%	64 前期比: +1 +2.4%	42 前期比: ▲5 ▲11.4%	58 前期比: ±0

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

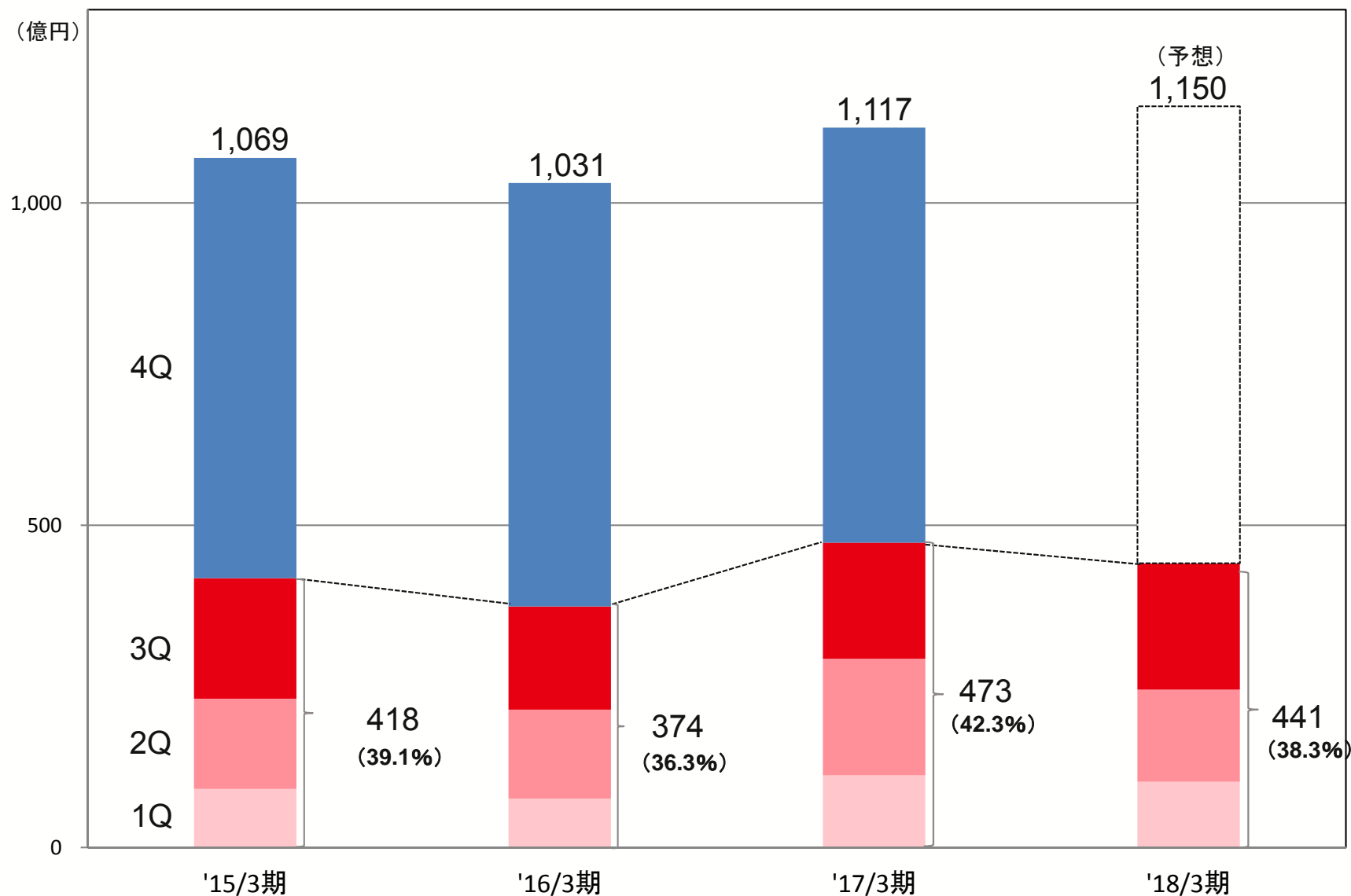
3Q累計 受注高推移(連結)

例年3Q累計の受注高は年間の7割前後。
当3Q累計の受注高は例年を上回り過去最高水準で推移。



3Q累計 売上高推移(連結)

当社グループの事業は、国内公共事業が大半で、売上・利益が4Qに著しく偏る傾向があり、例年3Q累計の売上高は年間の4割前後。当3Q累計の売上高も例年並みの水準。



【国内】

* 工事受注: **10億円規模以上11件^{*1}**(前期8件)、
5億円以上10億円未満10件(前期10件)の工事を受注

^{*1} うち**PPP** 案件は**2件**、通算では上下水道分野**60件中29件**に参画

<参考> 岩手県 大船渡浄化センター施設改良付包括運営事業 受託契約締結予定(4Q)

* 工事完了: **受注高5億円以上の工事を7件**(前期12件)完了

* 運転・維持管理 新規受託: **4件**

* 運転・維持管理 業務開始: **5件^{*2}** ^{*2} PPP案件1件、新規受託案件3件を含む

【海外】

* 受注

・中国: 浄水場向けオゾン発生システム

- * 水・環境インフラ施設向け「設備運転員訓練センター」を設置
(2017年11月1日付)
- * 水道用水質計事業の譲渡契約を東亜ディーケーケー株式会社と締結
(2018年4月譲渡予定)
- * アンコールワット国際ハーフマラソンに協賛
- * 東京都水道局「みんなでつくる水源の森実施計画」企業協賛金に協賛

- I 2018年3月期第3四半期決算ハイライト
および2018年3月期業績予想
- II 2018年3月期第3四半期決算概要**

Ⅱ 2018年3月期第3四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント情報
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(単位: 億円)

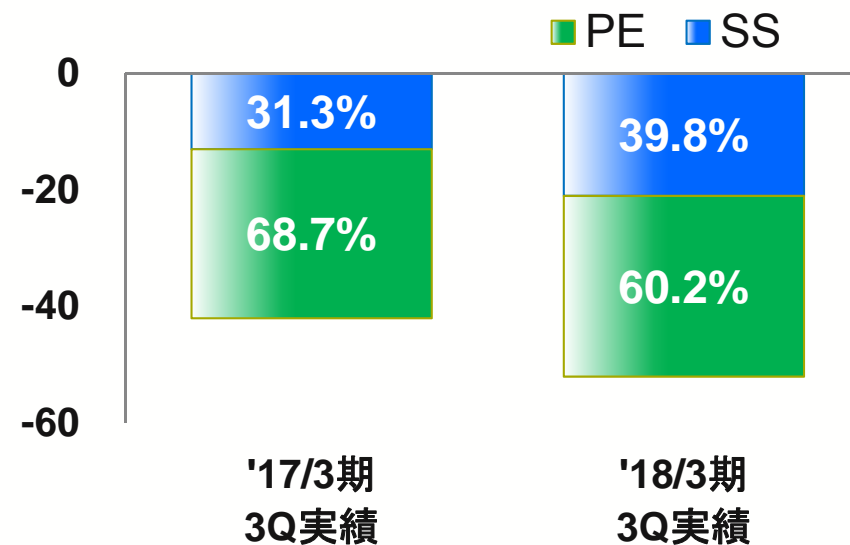
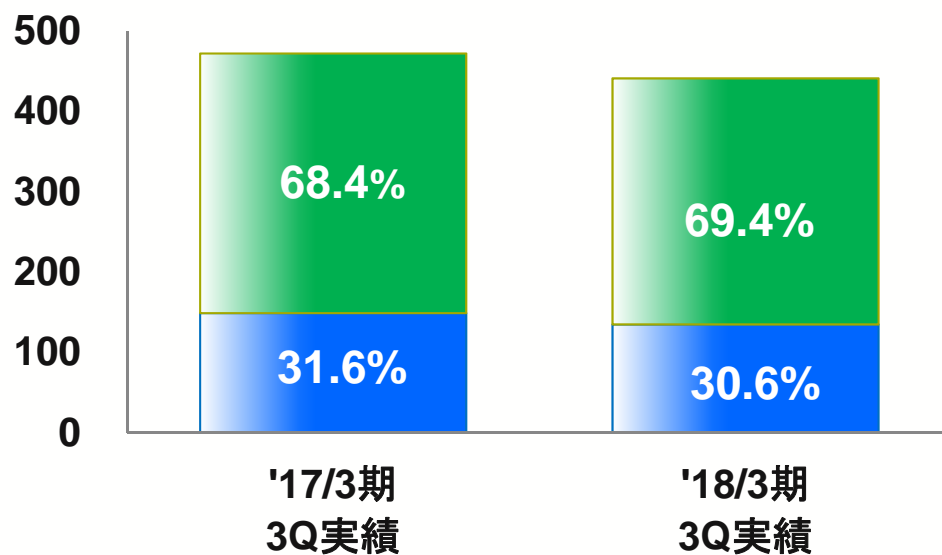
	'17/3期 3Q実績	'18/3期 3Q実績	増 減
売 上 高	473	441	▲32
営 業 利 益	-42	-52	▲10
(営 業 利 益 率)	-8.8%	-11.8%	▲3.0%
経 常 利 益	-40	-52	▲12
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	-23	-37	▲14

* 10百万円単位を四捨五入

(単位: 億円)

	売上高		
	'17/3期 3Q実績	'18/3期 3Q実績	増 減
PE	323	306	▲17
SS	149	135	▲14
合計	473	441	▲32

	営業利益		
	'17/3期 3Q実績	'18/3期 3Q実績	増 減
PE	-29	-31	▲2
SS	-13	-21	▲8
合計	-42	-52	▲10



連結貸借対照表

(単位: 億円)

	'17/3期 期末実績	'18/3期 3Q末実績	増 減
現金・預金	242	262	+20
売上債権	679	328	▲351
棚卸資産	72	223	+150
繰延税金資産	16	16	0
その他	26	51	+25
流動資産計	1,036	880	▲155
有形固定資産	31	30	▲1
無形固定資産	82	72	▲9
その他	62	62	+1
固定資産計	174	164	▲10
総資産計	1,210	1,044	▲165

	'17/3期 期末実績	'18/3期 3Q末実績	増 減
買入債務	308	148	▲159
短期借入金 ^{*1}	(8)11	(8)15	+3
前受金	87	176	+89
その他	80	43	▲37
流動負債計	485	382	▲104
長期借入金 ^{*2}	(124)148	(116)139	▲9
その他	54	53	▲1
固定負債計	202	192	▲10
負債計	687	574	▲113
純資産計	523	471	▲52
負債・純資産合計	1,210	1,044	▲165

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

連結キャッシュ・フローの状況

(単位: 億円)

	'17/3期 3Q実績	'18/3期 3Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	200	234	+34
営業キャッシュ・フロー	-1	47	+48
投資キャッシュ・フロー	-12	-6	+6
フリー・キャッシュ・フロー	-13	41	+54
財務キャッシュ・フロー	-26	-21	+5
現金・現金同等物に係る 換算差額	-4	0	+4
現金・現金同等物の期末残高	157	254	+96

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方に則り、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかることにより、当社グループに対する理解促進をはかり、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法等の諸法令および金融商品取引所の定める規則等により開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則等に則り、情報開示を行います。また、法令や規則等に該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様により有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則等により開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則等で定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則等に該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページ等を通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等を通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見等は、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算(四半期決算を含む)期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等は差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標等のうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションがはかれるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 CSR推進室 広報IR部

Tel: 03-6853-7317 Fax: 03-6853-8709 E-mail: pr@metawater.co.jp

工事受注(10億円規模以上)

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設建設工事	東京都	SS(環境)
	秋田県北地区広域汚泥資源化事業	秋田県	SS(PPP)
	新河岸水再生センター汚泥焼却炉脱水設備	東京都	PE
	森ヶ崎水再生センター再構築工事	東京都	PE
	相模原浄水場監視制御設備改良工事	神奈川県	PE
2Q	芝浦水再生センター東系高速ろ過設備工事	東京都	PE
3Q	大阪市海老江下水処理場改築更新事業	大阪府	SS(PPP)
	清瀬水再生センター汚泥焼却設備再構築工事	東京都	PE
	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事(焼却炉施設機械設備改築)	京都府	PE
	穴生中央監視制御設備更新電気計装工事	福岡県	PE
	横尾浄水場監視制御システム更新工事	大分県	PE
(4Q)	大船渡浄化センター施設改良付包括運営事業(受託契約締結予定)	岩手県	SS(PPP)

運転・維持管理 新規受託／業務開始

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	下呂市水道施設運転管理業務 [新規受託・業務開始]	岐阜県	SS
	下呂市水道施設運転管理業務 その2 [新規受託・業務開始]	岐阜県	SS
	中島浄化センター及び中島雨水ポンプ場外 運転管理業務 [業務開始(既受託分)]	静岡県	SS
3Q	川崎市下水道アセットマネジメント情報システム構築業務 [新規受託]	神奈川県	SS
	蔵前事業所 労働派遣 [新規受託・業務開始]	東京都	SS
	御殿場市・小山町広域行政組合 ごみ再資源化施設整備及び運営事業 [業務開始(既受託分)]	静岡県	SS(PPP)

受注(海外)

	案件名	国/地域	セグメント
3Q	中国 江蘇省 無錫市 錫澄浄水場向け酸素原料式高濃度オゾン発生システム	中国/江蘇省	PE